

中部大学との意見交換	
開催日時	2017年9月4日(月) 16:00 ~18:00
開催場所	NACS 事務所
参加者	中部大学：伊藤佳世准教授・学生5名 NACS：太田・南條・森口・田近
書記	森口 田近

伊藤准教授：中部大学（愛知県）経営情報学部。専門は環境マネジメントシステム・標準化教育

学生：中部大学 ESD エコマネーチーム所属

1. 中部大学生より活動の紹介

①資料「エネルギーマネジメント及び消費者向け標準化教材」の説明

- ・エネルギー分野と消費者分野に分けて活動している。消費者については、「消費者と標準とのかかわりを学びながら、消費者の価値観の多様化や消費・取引形態の変化に対応した標準化を推進する（資料に基づく）」
- ・イベントなどに出展する予定だが、周知に協力して欲しい。消費者関係のイベントにはどのようなものがあるか分からない。

<消費者向けイベント出展予定>

11月3・4日：名古屋消費者☆フェア/なごや Happy タウン

12月7・8・9日：エコプロ 2017

⇒NACS 中部支部を紹介する。国民生活センター主催の消費者フォーラムと消費者教育支援センターの消費者教育教材資料表彰の教材にエントリーすることを勧めた。

②学生が作成した消費者向けの教材の紹介・実演

- ・エネルギーマネジメント及び消費者向け標準化教材を研究しており、今回は消費者向けの教材及び、標準化教育について意見を聞きたい。一生を通した身の回りの標準を考え学び、実際に自分達（消費者）でも新たな標準を考案して貰う。

<人生ゲーム（子ども対象 小学生3年生以上）>

国際規格に関するクイズをといてマスを進み、カードをひいて現金や教育・幸福ポイントなどのポイントを得る（または払う）。人生のステージごとに就職、子育て、退職がある。JISCのHPから国際規格について調べ、質問を作成した。（写真参照）

NACSからの意見

- ・イラストも大変よくできており、カードも綺麗にできていて素晴らしい。苦勞の跡が

- 窺える。⇒イラスト担当がいる。紙芝居も作っていて、これまで、歩きスマホの防止、ネット犯罪など、子ども達が分かり易いように工夫して2部作製した(女子学生)。
- ・子ども向けにしては問題が難しい。もっと身近な具体的なもの、例えばチョークやイス、乾電池やトイレトペーパーなどを題材とした問題を作ってはどうか。
 - ・ポイントがどのようにゲームの中で関係してくるのかよく理解できない。

2. 中部大学の標準化教育について

①伊藤準教授より

- ・専門は環境についてだが、これまでも標準化について委員会等に参加している。
- ・標準化教育(標準化を学ぶこと)を通して、社会人としての基礎力をつけたい。
2・3年生対象に、一年間15コマの授業を行っている。大学で標準化教育をしているところは珍しいと思う。
- ・社会人になって企業に働きながら、みんなの為になるようなものを作って欲しい。社会的ニーズが大きければ標準化できる。

②学生より

- ・スマホやネットのゲームの対象年齢表示の標準化が必要だ。
日本国内のボードゲームや家庭用コンピュータゲームには対象年齢の表示がある。例えばニンテンドーDSなどのゲームソフトのパッケージには「A・B」という表示がある。
スマホなどのアプリからダウンロードするネットゲームにも対象年齢を表示したものもあるが、明確な基準はない。「15+」などと表示されたゲームでも、アップルストアやグーグルプレイなどを、細かく見ると違っている。子ども向きとされるゲームにもバイオレンスゲームが含まれていることもあり、子どもへの悪い影響があるのではないかと思う。
スマホやパソコンのネットゲームのユーザーは若い子が中心だから、ユーザーはこのことを知っている。しかし、大人はあまりゲームをしないので、ゲームの内容まで把握できていないから、対象年齢表示にばらつきがあることを知らないようだ。
DSソフトなどは、親がパッケージを見て制限できるが、アプリにはない。
⇒一番よく分かっているのは、使っている当事者であり、若い学生ならではの問題提起である。

3. NACSの標準化活動の説明

①標準化事業について

- ・標準化事業として、NACS各地で消費者が標準化活動に参画する活動を推進している。昨年度作成した手引書を渡す。

- ・ NACS でも同じように、新しい標準化を作ることを目指した活動を行っている。

②スタ研の活動の紹介

JISL4129・バラバラ国（JISの種探し）・助けや危険を知らせる音の標準化について説明し、掛け合いとバラバラ国の啓発ツール・4129のパンフレット・スタ研紹介リー

フレット等の資料を提供。

○「バラバラ国（JISの種探し）」について

- ・ 分かり易い、参考にしたいとの感想があった。

○「助けや危険を知らせる音の標準化」について

思いがけず伊藤先生に大変関心を持って頂き、貴重なコメントやアドバイスを頂いた。

- ・ 自分から助けを求める音ということで、大変いいところに目をつけられた。情報系の機関などに持ち込むといいと思う。TC262の国内委員会？などに関心があるかもしれないので、コンタクトを取ってはどうか。
- ・ IECのHPに音の委員会があるから、その国内委員会に連絡する。
- ・ どこかの企業が協力してくれればいいが、Docomo、Softbank、auなどの情報系ネットワーク企業などにもコンタクトをとってみては。
- ・ 自分も子ども？に防犯ブザーを購入したが、音などもバラバラでどれを選んでいいかわからず、結局見た目に気に入った商品を購入した⇒防犯ブザーは業界団体が策定した基準があり音の大きさの基準はあるが、音の音色（メロディ）は決まっていない。
- ・ 高齢者、難聴者にも配慮が必要⇒仰るとおり。以前、聴覚障害者に聞いたところ、ブザー音の標準化には賛成していた。「聴覚障害には全く聞こえない人から少し聞こえる人まで様々な人がいる。音と一緒に点滅（赤がいい）や振動も欲しい。点滅があれば、それを見て自分たちも救助できる」との意見を聞いた。

4. NACSの説明



NACSの資料に基づき、アドバイザー制度や試験、メリット等について説明し、将来、NACS入会を呼びかけた。

以上



＜ゲーム質問カード例＞ 左が問題 右が説明（答え）

<p>製品安全</p> <p>問題</p> <p>次の中で、モノに対する安心の測り方に関係のあるものは何ですか？</p> <ol style="list-style-type: none">1 定規2 強度3 教科書4 SMSの評価	<p>製品安全</p> <p>説明 消費者製品安全について定めています</p> <p>規格 ISO 10377</p> <p>専門委員会 ISO TC 176/SC 3</p> <p>品質マネジメント 支援技術</p> <p>効果：製品によって消費者への危害を防ぐためのもの</p>
--	--

<p>図記号</p> <p>問題</p> <p>以下の意味を示すのはどのマークでしょう？</p> <ol style="list-style-type: none">1 禁止2 注意3 指示 	<p>図記号</p> <p>説明 人体・財物への被害防止のための「禁止」「注意」「指示」を伝えるためのもの</p> <p>規格 ISO7010</p> <p>専門委員会 ISO/TC 145 (図記号)</p> <p>ISO 2(安全 認識、標識、図形、記号、色及び文字)</p>  <p>効果：世界中で危険なことについて図でわかるようになる</p>
--	--

